

2013/6/23 徳之島トライアスロン

ダメダメくん

台風直撃の為、飛行機は飛ばないとあきらめていたが、背中がカチカチ山、顔は逆パンダで帰ってくるとは思ってもみなかった。お天道様は気まぐれである。8月に骨折して以来、4月まで練習ゼロ。5月にP5-sixを手に入れるもトラブル続きで調整に明け暮れた。まさにプロ用機材、メカニクなしではカーボンくずなのだ。6月になってようやくP5に見切りをつけ練習開始。相変わらず、練習しない人だとあきれる。まあ、疲れて出場するよりもいいやんかいさ(@-@;)v



* スイム 2km

水温26度。曇っているがなんか暑い。湿度90%とわかって納得。ここは陸地と水平方向に泳ぐため浅い。黒いナマコだけは見えるが海水は濁っていて綺麗とは言えない。いや、遅いから白砂が巻き上がってんだよとレポート書きながら突っ込みをいれる。



* バイク 75km

15キロまでは強風と無数の坂と闘った。嫁と畳は新しいほうが良いとは言いが9年目のVXRSは快適である。おっと西川くんに追いつかれた。僕よりもスイムが遅いとは彼もなかなかの兵だ。しかし、家に帰ってリザルトを見たら僕の方がスイム1分以上遅かった。さすがだ。

51キロの長い坂が最大のヤマ場、それ以降はほぼ下りで、惰性でゴールまで連れて行ってくれるのだ。楽勝である。

*ラン 21Km

灼熱、無風、高湿度。まさに、だれもが思い描けるトライアスロンの過酷なランコース。しかも、2km~17kmまでは色々な坂に遭遇。いや坂しかないのだ。長い坂、急な坂、変な坂。歳のせいでボケたのかさほど苦にはならない。むしろ、坂に会うたびに嬉しくなってしまう。こんにちわって。

その後、海沿いに出たら平地しかないので、あっという間にゴールの競技場に入ってしまう。射程距離に2人ほど見えるがもう追わない。大切な

のは記録よりも記憶である。ただならぬ妖気を放っていたのか、日影でほうけていた嫁と目が合った。今さっき目が醒めたという2歳半の愛娘をベビーカーからもらう。たくさんの黄色い声援の中、娘を肩車でランウェイを駆ける。頭の中ではバイクの激坂で否応なく聞かされたロッキーのテーマが流れる。そして、ゴールテープの前でゆっくりと娘を抱えあげる。エイドリア〜ンなのである。しかし、肩の上が気に入った娘は頭にしがみついて離れない。ゴール後もだ。パパ好きの良い子だなあ。

You're everything, everything's you (' 3') ♪~



* 結果報告

KTC 強者メンバーのみなさん (写真内)

西川くん 15位 4:58:51 (酔っぱらい)

ダメダメくん 21位 5:04:28 (逆パンダなるわ)

原口さん 49位 5:35:59 (野球帽?)



次は皆生だ。無意味なレポートを書いて時間を浪費している場合ではないが、練習に出かける暇があるなら、今日も娘としまじろうで遊びたいダメダメくんなのだ。

以上